

■ 記録の仕方と注意点 ■

～育ちの記録、これまで・これから支援シート編～

■ 育ちの記録



就学前からの、主に教育機関における情報を記録します。保育所・幼稚園や学校での取り組みについては、担任の先生や保育に関わる先生に記入してもらいましょう。担任名は他機関との連絡をとるために必要ですので、必ずお書きください。また、その頃の家庭の様子も記入しましょう。

- ・ 学年ごとに記入できるようにしています。担任の先生に学年末に記入してもらいましょう。個別の教育支援計画・個別の指導計画をもらい、一緒にファイルへ綴じましょう。
- ・ 転校があった場合は、3月に在籍している学校の担任の先生に書いてもらいましょう。転校前の学校から、個別の教育支援計画・個別の指導計画をもらい、ファイルへ綴じましょう。
- ・ 中学校卒業後は、本人の進路にあわせて自由に書き込めるようになっています。もし進学などに伴ってページが足りなくなったら、市HPからダウンロードまたは宇城市教育委員会へご連絡ください。

■ これまで・これから支援シート



小学校への就学、中学校への進学、そしてその先の高校進学や就職するときに、生活がスムーズにいくよう、本人と保護者、卒業する学校及び関係機関で作成します。

生活や仕事をする上でのサポートの仕方、本人の余暇の過ごし方等について、本人・保護者・学校・関係者で話し合い、卒業後の豊かな生活に繋げましょう。

- ・ 育ちの記録同様、中学校卒業後は自由に書き込めるようになっていますので、ぜひご活用ください。

記入例

■ 育ちの記録(就学前) ■

園名や学校名、担任名、育ちの様子等を保護者や担任が学年末に記入しましょう。

< R4 年 4 月 ~ R5 年 3 月 >

保育所・幼稚園・認定こども園・幼稚部等名 うきうき幼稚園	担任名 三角 秋子 先生
療育相談 (有) ・ 無	相談員名 不知火 冬美 先生
<p>■保護者から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長さんになってできることが増えた。家では保育園であったことを一生懸命伝えようとしてくれている。 (例) タイマーで終了の時間を伝え、おもちゃで遊ぶ時間を守る など ・トイレの失敗はほぼなくなった。しかし、トイレに行きたいという意思表示は苦手なので、長時間トイレに行けないときは声掛けが必要。 ・「小学生になったら〇〇がしたい」「こんなことができるようになりたい」と本人もやる気に満ち溢れている様子。 <li style="text-align: center;">・ <li style="text-align: center;">・ <li style="text-align: center;">・ 	
<p>■園から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事はお箸を使うことで集中し、食べ終わるまで座っていることができた。集中力がとてもあり、発表会のダンスなどもすぐに覚えていました。 ・今の自分の気持ちや体調などを、言葉で伝えることは苦手みたいです。何かあるときは「先生」と呼んで、おなかが痛いときは腹部を触ったりすることで訴えることが多かったです。 ・集中すると気持ちの切り替えが難しいので、タイマーを用意して、「ピピピと音が鳴ったら終わりだよ」と伝えることで、スムーズに次の活動に移行できました。同じやり方で、おもちゃの貸し借りもできるようになりました。 <li style="text-align: center;">・ <li style="text-align: center;">・ <li style="text-align: center;">・ 	

**この1年間で
できるようになったこと・
まだ難しいこと、頑張っ
てほしいことなど**

これまで・これから支援シート

（保育所・幼稚園・幼稚部から小学校・小学部へ）

記入例

■ 入学に向けて、これまでの様子や配慮点・今後の支援のポイントなどを書きましょう。

（まず、保護者で記入し、園や幼稚部の先生に記入を依頼してください。）

（原本はファイルに綴じ、コピーを提出してください。）

入学予定の学校名

提出先 宇城市立〇〇小 学校長 様

■ 願い・好きなこと得意なことなど

氏名 生年月日	宇城 桜子（うき さくらこ） 平成・令和 28 年 5 月 21 日	園名	うきうき幼稚園
【入学へ向けての本人の願い】 ともだちといっぱいあそびたい テストで100てんをとる		【入学へ向けての保護者の願い】 ・まずは友達をたくさん作って、いろんな人と関わってほしい。 ・今までより大きな集団の中で活動することに慣れてほしい。 ・規則正しい生活を心がけよう。	
【好きなこと・得意なこと・苦手なこと】 ・歌やダンスが得意 ・ものの整理整頓が上手（並べ方にはこだわりあり） ・絵本やぬりえ、お絵かきに夢中になる ・大きな音や騒がしい場所が苦手 ・長い文章や遠い言葉			

本人が書いてもOK!

全部埋めなくても大丈夫。
今分かるところ・書けるところ
だけ書いてみましょう。

■ 生活の様子と配慮点

	保護者から	園・幼稚園・幼稚部から
健康 ・体温調節、睡眠 ・アレルギー ・視覚、聴覚 ・その他	様子 アレルギーは今のところなし。 視覚・聴覚に異常なし。 気温に合わせた服装調節が難しい。 眠りが浅い。 配慮点 声掛けして上着の着脱を行った。 夜中に目覚め寝付けずきつそうなどは、朝から少し休ませている。	様子 暑くてもお気に入りの服だと脱がない。 お昼寝のように短い時間では寝付けな いことがあった。 配慮点 集中していると指示の音が通らないこ とがある。音が出るタイマー等で聴覚を 刺激し終わりの時間を伝えると指示が 通った。

■医療機関から（就学後に必要と思われる配慮事項）

現在〇〇などの薬を服薬中。給食後の服薬指導をお願いします。

関係機関の支援者にもファイルをお渡しして、コメントを記入してもらいましょう。

■療育機関から（療育を受けた内容・就学後に必要と思われる配慮事項）

興味のあることに気を取られ、着替えや洗顔、手洗い・うがいなどがうまくできなかったので、行動を視覚的に示したスケジュール表を使って、①靴と上着を脱ぐ②手洗い・うがいをする③部屋に入りかばんをカゴに入れるなどの行動を、スケジュール表を見ながら練習しました。今では何も見なくても、ルーティンとして行動できるようになりました。

就学後も同じように、何かをする順番を視覚的に示してあげると良いと思います。次に何をすることが事前に分かっていると落ち着いて行動できるようです。

・
・
・

■保育所・幼稚園・幼稚部から（うまくいった支援や関わり・これから伸ばしてほしいこと）

おもちゃを使う順番が守れずお友達とけんかになることがありました。そこで、音が鳴るタイマーを使用して、「ピピピと音が鳴ったら〇〇さんに交代ね。」と最初に言ってあげることで、自分のもっと遊びたい！という気持ちを我慢して、順番を守れるようになるだけでなく、お友達と一緒に交代で遊ぶこともできるようになりました。

気持ちが切り替えられず、落ち着かない時がありました。その時は無理に集団に参加させず、職員が目が届く範囲で一人になれるスペースを作り、クールダウンをしていました。

物の場所や並べ方にこだわりがあるようですが、整理整頓がとても上手なのでお友達に教えてあげている場面もあり、クラスはいつもすっきり！他にも絵を描いたりダンスやお歌など、得意なことがたくさんありますので、もっともっと伸ばしてほしいです。

・
・
・

■保護者から学校へ伝えたいこと

自分のこだわりが実現できないと不機嫌になることがあります。一人でクールダウンするスペースがあると助かります。

今までは気持ちが落ち着かないときは、無理に集団参加はさせていませんでしたが、これからは自分の思い通りにいかないときの感情コントロールも身に付けてほしいと思っています。家でも練習していますので、学校でもご指導をお願いします。

・
・
・

できる支援・難しい支援があります。
このシートをもとに、学校の先生とお話ししましょう。

作成年月日（R5年3月20日）

保護者氏名（ 宇城 花子 ）